鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和元年度（2019年度）第2四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・第2四半期の来館者数は、4,128人（前年度同期 3,427人）で、前年度同期と比べ701人・約20.5%の増であった。
- ・前年度は冷温水発生機取替等修繕のため、7月に30日間休館していたため、今年度は集客が前年度より伸びたが、平成28年度の5,463人、平成29年度の4,632人よりも劣った。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・落雷などによる異常が発生した場合、速やかに対応し、施設の維持管理に努めた。
- ・季節に応じた植物の植付などを行った。

● 施設の運営

- ・展覧会ごとにチラシやポスター等を作成し、周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・事業計画どおり、展示替えを行い、企画展・特別展及び普及事業を開催した。
 - * 展示替 66作品66点の展示（7月）
 - 68作品68点の展示（8月）
- ・各展覧会とも展示解説を実施し、7月～9月の展示解説への参加者は延べ223人だった。
- ・第2四半期は普及事業及びその他事業が多く計画され、滞りなく実施しいずれも好評を得た。
 - * 子ども参加プログラム「夏休み親子鑑賞」
 - * 親子ワークショップ「親子で美術館へ行ってみよう！美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験！」
 - * 子ども参加プログラム「日本画材を使って絵巻物を描こう！」
 - * 子ども参加プログラム「浮世絵の多色摺り技法に挑戦しよう！」
 - * 日本画ワークショップ
 - * 地下道ギャラリー50展示

● その他必要な業務

- ・鏑木美術品の調査研究や、近隣文化施設との5館連携スタンプラリーを行った。

4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品等の保管や展示の状況確認を7月18日、9月25日に行い、結果は良好であった。

● 調査・研究

7月

- ・木版画の技法についての資料調査
- ・明治の女学生文化についての資料調査
- ・清方のスケッチに描かれた植物の名称の調査
- ・清方の弟子(山川秀峰、西田青坡)の作品資料の 実見調査
- ・泉鏡花関連の清方作品についての調査
- ・青衿会についての調査
- ・寺島紫明、山川秀峰、伊東進水についての調査
- ・婦人雑誌における清方の仕事についての調査

8月

- ・青衿会に関する調査
- ・婦人雑誌の清方の口絵等に関する調査
- ・清方の文献目録作成のための調査
- ・泉鏡花『日本橋』関連の清方作品の調査
- ・三遊亭圓朝に関する浮世絵の実見調査
- ・大正新版画と清方との関わりについての調査
- ・九九九会の活動についての調査
- ・清方の随筆における鏡花作品に関する記述についての調査
- ・清方と花柳昌太郎の交流についての調査

9月

- ・新派劇「滝の白糸」に関する調査
- ・清方の随筆における九九九会についての記述の調査
- ・吉田秋光の作品調査
- ・清方の提唱した「新社会画」と弟子たちの実制作の調査研究
- ・清方と新版画との関わりについての調査研究
- ・青衿会に関する調査
- ・《深沙大王》に関する調査

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている(7月分:8月13日、8月分:9月13日、9月分:10月8日提出)。
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会や日本画ワークショップ等の情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

特になし。

● その他

- ・4月1日からインターン1名(桜美林大学)を受入れている。
- ・初めて県立高校教員の研修を実施し、高校生のインターンシップや東洋英和女学院大学の学芸員実習を受け入れた。
- ・東劇主催のシネマ歌舞伎グランドシネマ「日本橋」のトークイベントや、泉鏡花記念館開館20周年記念展「鏡花をオクレー没後80年ー」トークセッションへ講師を派遣した。
- ・名都美術館前期展示分を出品した。

6 全体評価

- ・第2四半期の来館者数は4,128人、昨年度同期の3,427人と比較して701人・約20.5%の減となっている。前指定管理期間の同四半期の平均値(4,930人)と比較して83.7%となっている。
- ・前年度は冷温水発生機取替等修繕のため、7月に30日間休館していたため、今年度は集客が前年度より伸びたが、歴年同四半期よりも少ない。今後は、さらに市民に定着する、集客が見込めるイベントを企画・実施してほしい。
- ・調査・研究について、図録作成などの成果を示していることが評価されている。評価された調査・研究の成果を市民等より多くの方々に伝えていくよう積極的に取り組まれない。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検を初め、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和元年度（2019年度）第2四半期判定評価

評価項目	判定点	第2四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0
総 計	122		

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%